Discourse Marker の一考察（3）
——メタ言語としてのDiscourse Marker——

松　尾　文　子

1

Discourse marker の分析の主要なものとして，Schourup(1985)，Schiffrin(1987)，Blakemore(1987)などがあるが，discourse marker はある談話と先行の談話を結びつける役割を持つことが共通して述べられている。Discourse marker には次のような特徴がある。

1．伝統的な文法範疇に当てはまらない。
2．文の意味内容（命題）に影響しない。
3．典型的には文頭に現れるが，文中・文末も可能で，独立した音調単位を持つ。

したがって，従来の統語論や意味論のみからの分析は不可能で，語用論や談話分析などの手法でアプローチされているが，これと言った決め手となる説は確立されていない。さらに，discourse marker とは具体的にどのような語句を指すのかも学者によって意見を異とするところである。

本論では，談話と談話をつなぐということはつまりdiscourse marker によって話し手（書き手）は聞き手（読み手）に自分の発している談話の構造を説明している，談話をどう解釈するのか文脈の明確化の手がかりを与えているのであるということを明らかにしてゆきたい。

2

2.1　論点をはっきりさせるもの

一連の談話の中で話し手が伝えたい最も重要な情報はこれであることを聞き手に示す。

(1) "You must understand, Miss Whitney, that if there were the slightest danger of anyone's being caught, I would not be involved in this. I have my reputation to protect."

"I promise you I won't say anything about it," Tracy said coldly.

He grinned. "There's really nothing you could say, my dear, is there? *I mean,*[1] who would believe you? *I*[2] am Conrad Morgan." —S. Sheldon, *If Tomorrow Comes* (p. 160) (「十分承知しといて下さいよ，ホイットニーさん。誰かが捕まる危険がほんの少しでもあるなら，こんなことに関わるつもりはありませんから。信用第一ですからね。」「誰にも言わないとお約束しますわ。」トレイシーは冷やかに言った。彼はにやっと笑った。「もっとも，話すことなど何もないでしょうがね。つまり，あんたが言うことを誰が信じてくれるのかということだよ。私はコンラッド・モーガン（ニューヨークの宝石商，影のドン）なんだからね。」)

話すことがないのでない。誤解しないようにはっきり言っておくが，私が言おうとしているのは誰もあなたを信じないことだと，I mean によって主張点を明確にしている。

次は前文の内容の明確化(stregthening[3])が基本的な意味であるin fact の例である。

(2) "Oh, my poor darling." There was an adoring look in her eyes. "I'll be right back, sweetheart."

Tracy watched her slink across the floor. "Aren't you afraid she'll give you diabetes?"

"She is sweet, isn't she? And how have you been lately, Duchess?"

Tracy smiled for the benefit of those around them, "That's really none of your concern, is it?"

"Ah, but it is. *In fact*, I'm concerned enough to give you

some freindly advice. Don't try to rob this château." —*Ibid.* (p. 266) (「まあ，大変だわ。すぐに（アスピリンを）取って来ますわ，あなた。」彼女は愛しげに彼を見た。トレイシーは彼女が足取りも軽くフロアを横切るのを見つめた。「まあ，甘いこと。あなた，糖尿病にでもなってしまうのじゃないの。」「彼女，なかなかかわいいだろう。ところで，最近いかがですか，公爵夫人？」トレイシーは周囲を気にして微笑んだ。「あなたには関係のないことでしょう。」「ああ，ところが大ありさ。実のところ友達として忠告しようと思ってるくらいさ。この城には盗みに入らない方がいいよ。」)

(3) "Mr. Mentakis, did Mrs. Savalas come to you one day in December and tell you that she was having problems with some of her plants?"

"Yes, sir. She did."

"*In fact*, didn't she say that there was an infestation of insects that was destroying her plants?"

"Yes, sir."

"And did't she ask you for something to get rid of them?"

"Yes, sir." —S. Sheldon, *Memories of Midnight* (p. 127)

(「メンタキスさん，12月にサバラス夫人が来て植木がどうにかなったと言いませんでしたか」「はい，その通りです。」「もっとはっきり言えば，植木を枯らしてしまうような虫にやられたと言ってなかったかと聞いているのです。」「そうおっしゃっていました。」「それで，虫を退治するものが欲しかったのでしょう？」「はい，そうです。」)

(2)では，あなたには関係ないと言われるのは予想しており[4]，それに応えて関係があることを，さらに詳しく言えば友人として忠告するという意味で関係があるのだと話し手は伝えようとしている。(3) は，弁護士が証言を得ようと養樹場で働いている男に質問しているのであるが，いっこうに期待通りに進まないのに業をにやして自分の聞きたいのはこのことだと主

張している。

(4) "And where will you be going, after one or two weeks?" he demanded, changing direction.

"Back to Switzerland," said Charlie.

"You could let us have an address, *of course*?"

"Of course," agreed Charlie. —B. Freemantle, *Clap Hands, Here Comes Charlie* (p. 80) (「で，一・二週間（ここに滞在）したら，どちらへいらっしゃるのですか？」警視は話の方向を変えてたずねた。「スイスへ戻るよ。」チャーリーは答えた。「住所は教えていただけますね，もちろん。」「ええ。」チャーリーは同意した。)

Of course は "implies that what is being stated is common knowledge" (Ball, p. 87)，つまり，チャーリーの嫌疑は完全に晴れたわけではないのだから当然居場所ぐらいは教えるべきだと警視は主張したいことをはっきりさせている。なお，二つめの of course は，yes の意である。次は，チャーリーと自閉症の兄レイモンドの会話である。

(5) "You ever smile?" Charlie asked.

"I ever smile," answered Raymond, continuing to stare.

"Prove it," challenged Charlie. He grinned at his brother, showing all his teeth, one of his best charming smiles. Raymond looked at him for a moment, then grinned back. It wasn't a real smile; it was a physical imitation, like his mimicry of Susanna's wave. It resembled the smile of a window-dressing dummy, but it was a smile *after all*. Raymond Babbitt's first smile. —L. Fleischer, *Rain Man* (p. 81) (「笑ったことあるのかい？」チャーリーはたずねた。「あるよ。」じっと目をそらさずにレイモンドは答えた。「証明してみろよ。」チャーリーは挑むように言った。彼は兄に向って歯を全部見せてにやっと笑いかけた。彼にとっては最も魅力的な微笑みの一つだった。レイモンドはしばらく弟を見つめ，同じようににやっとした。本物の

微笑とは言えなかった。顔つきを真似ただけで，スザンナのけたけた笑いのものまねのようだった。マネキンの微笑に似ていたが，やはり微笑にはちがいなかった。レイモンド・バビットの初めての微笑だった。)

" after all (that has been said), you must admit that there is another and most important point for consideration. *After all* connects what has preceded with a new, and what is probably the most important consideration of all" (Ball, p4) とあるように，レイモンドの微笑についていろいろ言ってきたが，結局のところそれは微笑だということが一番伝えたい重要な情報である。

2.2 話題をコントロールするもの

話し手が discourse marker によって会話の構造をコントロールし，話題の流れを操作する。

(6) "This is the first psychiatrist's office I've ever been in," Angeli said, openly impressed. "I wish my house looked like this."

"It relaxes my patients," Judd said easily. "And *by the way*, I'm a psychoanalyst."

"Sorry," Angeli said. "What the difference?" —S. Sheldon, *The Neked Face* (p. 17) 「精神病医の診察室は初めてですよ。私の家もこんなだったらいいんですが。」アンジェリは感銘を受けたことを率直に態度に表して言った。「患者がリラックスできるようにしているのです。ときに，私は精神分析医なんですがね。」ジャッドは軽い調子で言った。「すみません。で，どう違うのですか？」アンジェリは言った。)

(7) "Mr Benson is the witness to your accident," said Moody benevolently.

"I got his name from the police report and went to see him

after you left my office. That'll be three−fifty for taxicabs. OK?"

Judd nodded, speechless.

"Mr Benson−he's a furrier, *by the way*. Beautiful *stuff*.[5] If you ever want to buy anything for your sweetheart, I can get you a descount. *Anyway*, Tuesday, the night of the accident, he was comin' out of an office building where his sister−in−law works. …" −*Ibid*. (p. 87) (「ベンソンさんはあなたの事故の目撃者なんですよ。あなたが私の事務所を出てから警察の書類で名前を見つけて会いに行ったんです。タクシー代の3ドル50セントもいただきますよ。いいですね?」ムーディー(私立探偵)は情深げに説明した。ジャッドは無言でうなずいた。「ところで,ベンソンさんは毛皮屋なんですよ。すばらしい代物ですなあ。恋人に何か買ってやりたいなら,安くするよう頼んであげますよ。それはそうとして,火曜日,事故のあった夜,彼は義理の姉が働いている会社から出て来るところだったんです。……)

(6)では,話し手は相手があまりに部屋のことに感心しているので,一応それに対する受け応えをしてから,話題を変えて自分は精神科医ではなく精神分析医だと訂正している。(7)は探偵と依頼者の対話である。有力な証人となりそうなベンソン氏について話をしているが,by the way により本題とは関係のない毛皮の話題を持ち出し脱線したあと,anway によってまた本題の事故の話題へと戻している。

2.3 その他

ある談話と先行の談話との論理的な関係を明確にするために discourse marker を用いることがある。

(8) I've been thinking about you, Catherine. I was concerned that you might find London a lonely place. *After all*, you don't know anyone there." −S. Sheldon, *Memories of*

Midnight (p. 84) (「ずっと君のことを考えてたよ，キャサリン。君がロンドンは寂しい場所だと思うんじゃないかと心配してた。だって，そこには知り合いは誰一人いないんだからね。」)

知り合いがいないということがロンドンを寂しい場所だと思うことの理由であることを話し手は after allを用いることで説明している。

(9) "Uncle Gerald, I have got to go to college," I told him.

"College?" he said, and lit one of his terrible-smelling black cigars.

"They gave me just a part scholarship and you know we're short on money. I'll have to ask you for a loan."

"*Well*, money, sweetheart, certainly," said Uncle Gerald, "but what're you going to do about your mama?"

"I can't stay with Mama all my life." —A. Tyler, *Earthly Possessions* (p. 67) (「ジェラルドおじさん，私，大学に行かなくちゃならないのよ。」「大学だって？」彼は例のひどい臭いのする黒いタバコに火をつけながら言った。「奨学金は一部しかもらえなかったし，私達お金に不自由してるのは知ってるでしょう。おじさんにお金を借りるお願いをしないといけなくなりそうよ。」「ああ，お金ねえ，そうだね。でも，お母さんはどうするつもりだい？」ジェラルドおじさんは言った。「一生ずっとお母さんと暮らすわけにはいかないわ。」)

話し手は well を用いることで，これから言うことは聞き手にとって都合のよくないことだから答えるのをちゅうちょしていることを聞き手に知らせている。[6)]

3

以上の例から明らかなように，discourse markerはメタ言語としての機能を持つ。すなわち，話し手（書き手）は自分の述べていることをどのように解釈して欲しいか，大きな談話のわく組の中でその発話が構造上どんな位置にあるのか聞き手(読み手)に説明するために discourse marker

を用いる。ある発話によって表される命題内容そのものにかかわるのではなく，命題内容に対する話し手の命題態度を表す。命題態度は言語的に記号化された文脈（発話），視覚的情報，イントネーションなどの音韻的要素，話し手が持っている背景的知識による決定されるが，聞き手が話し手の命題に対する態度を正しく推論できるように discourse marker が用いられる。たとえば，（8）の after all は「あなたはそこにいる人を誰一人知らない」という発話の真理条件に影響を与えるのではなく，聞き手が行うことが期待されている推論過程（after all 以下は彼女がロンドンが寂しい場所だと思う理由である）は何であるかを示すことによって，発話理解の手助けをし，これが聞き手の労力を軽減することになる。他の discourse marker もまたメタ言語として，一連の談話におけるある発話の機能に言及する。

Discourse marker が命題内容ではなく命題態度にかかわるレベルにあるという点で，当然，いわゆる文副詞との共通点が多く見られる。たとえば，in fact は actually とほぼ同義で，述べられていることの真実性を主張する。of course は naturally とほぼ同義で，述べられていることの妥当性，その事柄が当然だと判断していることを表す。by the way は incidentally とほぼ同義で，ある話題から別の話題への推移を表し，談話の構造を明示する。また，音韻上では独立した音調単位を持つこと，統語上では文の他の要素との結びつきが緊密でないこと，などの共通点がある。

コミュニケーションのレベルから考えると， discourse marker は話し手の伝達上の意図を明確化し，発話場面を言語によって調整し，談話の構造をコントロールする「メタコミュニケーション」に貢献する。

話し手が自らの発話を自らが説明することによって，聞き手に文脈の明確化（前後の談話とのつながり）の手がかりを与え，談話の理解がより容易になる。談話で伝達される情報は全て Sperber and Wilson の言う Principle of relevance（関連性の原理）[7] にかなうものである。言語の経済性という観点に立てば，人間は新しい情報からできるだけ少ない労力で，

できるだけ大きな文脈効果を得るために，関連性のより高いコンテクストを選ぼうとする。聞き手に最も高い関連性を持つコンテクストを選ばせる指南役として discourse marker が機能する。情報を処理し，談話を理解することが仕事である聞き手側からすると，"maximal cognitive effect for minimal effort"(Wilson and Sperber, 1988, p. 140) ——最少の情報処理労力で最大の認知上の効果を得る——ことができれば都合がよい。聞き手が最大の認知上の効果を得ることはすなわち，話し手の発話の意図を正しく理解することであるから，そうなれば話し手と聞き手双方にとって最高の伝達行為ができたことになる。最も効率的で，かつ正確な情報伝達を達成するために，discourse marker は大きな機能を果たしているのである。

脚　注

1) 例文中のイタリック部は，特に断りのない限り全て筆者による。
2) 原文ではイタリック体。
3) Sperber and Wilson (1986) 参照。
4) 内田 (1988) によると，ah　はある程度の予想の範囲内での驚きを示す。
5) 原文ではイタリック体。
6) 小論 (1989)。
7) Every act of ostensive communication communicates the presumption of its own optimal relevance. – Sperber and Wilson (1986, p. 158).

参考文献

Ball, W. J., *Dictionary of Link Words in English Discourse*. London : Macmillan, 1986.

Blakemore, D., *Semantic Constraints on Relevance*. Oxford : Basil Blackwell, 1987.

Brown, G. and G. Yule, *Discourse Analysis*. Cambridge : CUP, 1987.

Levinson, S. C., *Pragmatics*. Cambridge : CUP, 1987.

松尾文子，「Discourse Markerの一考察（1）」『英米文学研究　第25号』梅光女学院大学英米文学会，1989.

Schiffrin, D., *Discourse Markers*. Combridge : CUP, 1987.
Schourup, L., *Common Discourse Particles in English Connectives*. New York : Garland, 1985.
Schourup, L. and T. Waida, *English Connectives*. Tokyo : Kuroshio-shuppan, 1988.
Sperber, D. and D. Wilson, *Relevance*. Massachusetts : Harvard University Press, 1986.
——, *Linguistic form and relevance*. (unpublished).
Stubbs, M., *Discourse Analysis*. Oxford : Basil Blackwell, 1983.
内田聖二,「辞書と語用論」『語法研究と英語教育 *No.10.*』京都：山口書店, 1988.
Wilson, D. and D. Sperber, "Representation and relevance" in Kempson (ed.), *Mental Representations:The influence between language and reality*. Cambridge : CUP, pp. 133-153, 1988.

引用作品

Fleischer, L. *Rain Man* (1989)
Freemantle, B. *Clap Hands, Here Comes Charlie* (1978)
Sheldon, *S. If Tomorrow Comes* (1985)
———, *Memories of Midnight* (1990)
———, *The Naked Face* (1981[13])
Tyler, A. *Earthly Possessions* (1977)